

二葉中学校区・舟栄中学校区 地域検討会たより

第1回地域検討会の報告会を開催します

二葉中学校区・舟栄中学校区は、少子化や都市のドーナツ化などにより子供の数が少なくなっています。それにもなつて地域の学校が小規模になってきました。小規模な学校には良い面もありますが、それによるデメリットがあることも見えてきました。そこで、子どもたちにとってより良い教育環境を実現するために、校区内の4つのコミュニティ協議会と両中学校PTAのそれぞれの会長が発起人となり、「二葉中学校区・舟栄中学校区地域検討会」を立ち上げました。

この検討会では、二葉中学校・舟栄中学校の教育環境改善策を協議し、地域への提言にまとめることを目的にしています。1月25日(水)に行った第1回地域検討会の概要について、地域の皆様にお知らせいたします。

第1回地域検討会の報告会を開催します。意見交換も行いますのでご参加ください。

◎ 日時 2月9日(木) 午後7時～ 会場 二葉コミュニティハウス

◎ 日時 2月10日(金) 午後7時～ 会場 北部コミュニティセンター

※ 中学校区に関わらず、ご都合の良い会場へお越しください。

1 二葉中学校区・舟栄中学校区地域検討会設立総会

検討会の設立総会を開催し、名称、委員、設置及び運営規程が承認されました。承認された委員は次のとおりです。

二葉中学校区・舟栄中学校区地域検討会 検討委員名簿

	氏名	所属団体等		氏名	所属団体等
1	○吉江 常浩	栄小学校区コミュニティ協議会会長	19	宮原 務	舟栄中学校PTA顧問
2	戸川 芳孝	副会長	20	○濱田 守	会長
3	菊池 政史	事務局長	21	今井 聡	豊照小学校PTA会長
4	○鈴木 正雄	入舟小学校区コミュニティ協議会会長	22	姥山 祐子	副会長
5	田村 幸夫	副会長	23	秋沢 秀樹	湊小学校PTA会長
6	明間 博隆	副会長	24	早藤 智	副会長
7	村木 正徳	総務部長	25	坂上 靖	栄小学校PTA会長
8	○長谷川守英	湊校区コミュニティ協議会会長	26	二見 唯	副会長
9	阿部 一之	副会長	27	西方 一成	入舟小学校PTA会長
10	星 道夫	副会長	28	野内 隆裕	副会長
11	渋谷 隆司	総務部長	29	丸山 正	二葉中学校同窓会長
12	大野 義彰	文教部長	30	田代 雅春	舟栄中学校同窓会長
13	三条 澄	厚生部長	31	赤澤 美治	豊照小学校同窓会長
14	○小松 順一	豊照地区コミュニティ協議会会長	32	鹿島裕美子	豊照地区主任児童委員
15	鹿島 興二	副会長	33	周防 裕嗣	豊照小学校区青少年育成協議会会長
16	◎中山 大介	二葉中学校PTA会長	34	柴田 歳子	栄地区主任児童委員
17	新保小百合	副会長	35	久我 右	栄保育園
18	佐藤 康子	副会長			

◎ 会長 ○ 副会長

第1回 二葉中学校区・舟栄中学校区地域検討会

(1) 生徒の教育環境改善方法について

各地域で、地域や保護者、関係団体役員などを対象に説明会を開き、そこでの様子について報告がありました。

- 栄コミ協・・・二葉中学校と舟栄中学校の統合を前提に地域や保護者と検討を進めてほしい。
- 入舟コミ協・・・小学校の状況から実感がわかないが、中学校については考える時期に来ている。
- 湊コミ協・・・中学校も小学校も統合に向けて早急に協議を進めてほしい。
- 豊照コミ協・・・考えていかなければならない問題であり、検討会を立ち上げて協議してほしい。
- 舟栄中PTA・・・生徒の減少が続く見込み。一つの学校では解決できず地域の課題としてほしい。
- 二葉中PTA・・・大切なのは時間であり、できるだけ早くこの状況の改善を図れるよう皆さんで案をまとめてほしい。

地域検討会としては、これらの地域や保護者からの意見を受け、地域の子どもたちの教育環境を改善するための方法として「二つの中学校の統合」を前提に案をまとめていくことを確認しました。

(2) 具体的な検討事項

続いて、地域や保護者の皆さんに提案する際には、統合後の学校の具体的な姿を示していく必要があることから、いくつかの項目について意見を出し合いました。

ア 統合の方法

統合の方法には、「編入」と「合併」があります。編入は、一方の学校を閉校し、もう一方の学校に編入する方法です。「合併」は、両校をいったん閉校し新しい学校としてスタートさせる方法です。検討会では、統合までの期間の短い編入を支持する意見が出された一方、生徒の気持ちを考え新たなスタートを切る合併の方法を支持する意見も出されました。



イ 使用する校舎

使用する校舎については、現在の校舎のどちらかを使用することになります。学区における学校の位置や改築から間もないなどの理由で舟栄中学校の校舎を使用する意見が大勢でした。

ウ 校名

校名については、統合の方法と関連があります。統合の方法が編入の場合は、編入する学校の校名をそのまま使用します。統合の方法が合併の場合は、新たに校名を決定します。そのため、校名については統合の方法の議論を受けて、後の検討となります。

エ 統合の時期

協議において多くの時間を割いたのが「統合に要する期間」についてです。早期の統合を望む意見が大勢を占め、平成25年春を望む意見が多くありました。できるならば、平成25年春に合併の形でスタートできないかといった意見も出されました。一方で、統合するにしてもやはり2年ぐらいの十分な準備の時間をかけて統合すべきという意見も出されました。また、学校現場の意見はどうか、1年という短い期間で統合して本当に良い教育ができるのか、などといった意見も出されました。

次回、第2回二葉中学校区・舟栄中学校区地域検討会は、2月15日(水)午後7時より二葉コミュニティハウスで行います。

問い合わせ先：新潟市教育委員会 教育総務課企画室（二葉中学校区・舟栄中学校区地域検討会事務局）

(TEL:025-226-3178 FAX:025-230-0401 E-mail:somu.ed@city.niigata.lg.jp)

当日の配布資料や二葉中学校区・舟栄中学校区地域検討会設置および運営規程など関連事項は、後日、新潟市のホームページに掲載いたします。